

【当院の新規採用レジメン紹介】

JCHO さいたま北部医療センター 薬剤部
田子 加代子

COI開示

内容に関連して、開示すべき
COI関係にある企業等はありません

【レジメン名】 トラスツズマブ単独療法
【対象疾患】 乳がん・HER2subtype

薬品名	投与量	投与時間	Day	1	8	15	21
トラスツズマブ (初回)	8mg/Kg	90分		↓			
トラスツズマブ (2回目以降)	6mg/Kg	30分					

投与間隔:3週毎

★投与速度:Infusion reactionなどのアレルギー反応が無ければ
2回目以降は30分まで短縮可能

【レジメン名】 パドセブ
【対象疾患】 がん化学療法後に憎悪した根治切除不能な
尿路上皮癌

薬品名	投与量	投与時間	Day	1	8	15	21	28
パドセブ	1.25mg/Kg	30分		↓	↓	↓		

投与間隔:4週間 (day1、day8、day15投与し1週間休薬) 1サイクル

NCCNガイドラインにおいてStandard regimensとしてcategory I
に推奨されている

【パドセブの重要な副作用と発現時期(中央値)】

★ 重度の皮膚障害 0.46ヶ月

- ・発熱(38℃以上)
・まぶたの張り
・陰部のびらん
- ・眼の充血
・開眼困難
・咽頭痛
- ・眼脂(眼分泌物)
・口唇のびらん
・紅斑 等

※上記の初期症状(皮膚、粘膜又は眼等の異常)が認められた
場合、重度の皮膚障害の可能性を考慮し速やかに受診

【パドセブの重要な副作用と発現時期(中央値)】

★ 高血糖 0.62ヶ月

- ・口渇(最も頻度が高い)
・多尿
- ・多飲
・体重減少 等

★ 末梢性ニューロパチー 2.46ヶ月

- ・手足のしびれ感、痛みなどの異常感覚
・四肢末梢の脱力、運動麻痺
・灼熱感、針で刺すような痛み 等
- ・筋力低下

【パドセツの重要な副作用と発現時期(中央値)】

★ 骨髄抑制

29日

・貧血の症状(疲労感、頭重感、動悸、息切れ、顔面蒼白…)

・好中球減少症に関連する症状(発熱、悪寒、咽頭痛…)

↓

好中球減少症:血液検査により指摘

●敗血症に進展すると高熱、悪寒、戦慄、意識障害などの症状がみられるようになるため注意が必要

★ 感染症、腎機能障害、間質性肺疾患、インフュージョンリアクション、肝機能障害…

JCHO

独立行政法人

地域医療機能推進機構

【レジメン名】 オプジーボ・ヤーボイ併用療法

【対象疾患】 腎細胞がん

薬品名	投与量	投与時間	Day	1	8	15	21
オプジーボ	240mg/body	30分		↓			
ヤーボイ	1mg/Kg	30分					

投与間隔:3週毎

★ 4コースで終了⇒オプジーボ単独療法へ

オプジーボ・ヤーボイ併用療法:中リスク/高リスクの腎細胞がんに対するファーストラインの治療薬

オプジーボ単独療法:セカンドラインの治療薬

※JUA(日本泌尿器科学会)ガイドライン

JCHO

独立行政法人

地域医療機能推進機構

トレーシングレポート

アンケート結果について

JCHO

独立行政法人

地域医療機能推進機構

【診療科別アンケート回収割合】

対象者:常勤医師

解答者:15名

JCHO

独立行政法人

地域医療機能推進機構

【トレーシングレポートを読んでいますか?】

■ 毎回読んでいる

■ たまに読む

■ 読まない

■ 届いたことが無い

レポートを受け取っている医師だけにすると100%が、「読んでいる」

JCHO

独立行政法人

地域医療機能推進機構

【トレーシングレポートは役に立っていますか?】

■ 非常に役に立っている

■ 役に立っている

■ 参考になっている

■ 役に立っていない

■ 他

レポートを受け取っている医師だけにすると100%が、「参考になっている」、「役に立っている」

JCHO

独立行政法人

地域医療機能推進機構

【レポートに記入してほしいこと？】

- ◆ 今も十分記入されているが、患者が気にしていることを今後も知らせてほしい
- ◆ 処方された薬に対して、患者がどのように思っているかなど、医師に話しにくい事を聞いてほしい
- ◆ 医師に言いそびれたが、調剤薬局での問診等で明らかになった服薬上の問題点を記入してもらえると有益
- ◆ 処方薬に対しての患者の希望（剤型変更など・・・）
- ◆ 簡潔に箇条書きなど読みやすいと助かる

【調剤薬局の薬剤師の先生に望むことは？】

- 患者の訴えに対する対応、具体的な処方提案をしていただけると助かります。
- 他院で同作用の薬剤が処方されていて重複する場合、連絡を頂き助かることが多い。今後も連絡をお願いします。
- 一般名処方の場合、メーカーやジェネリックが先発かに関して は薬の専門家である薬剤師が決めていただき、医師への問い合わせは不要です。

引き続きよろしくお願い致します。